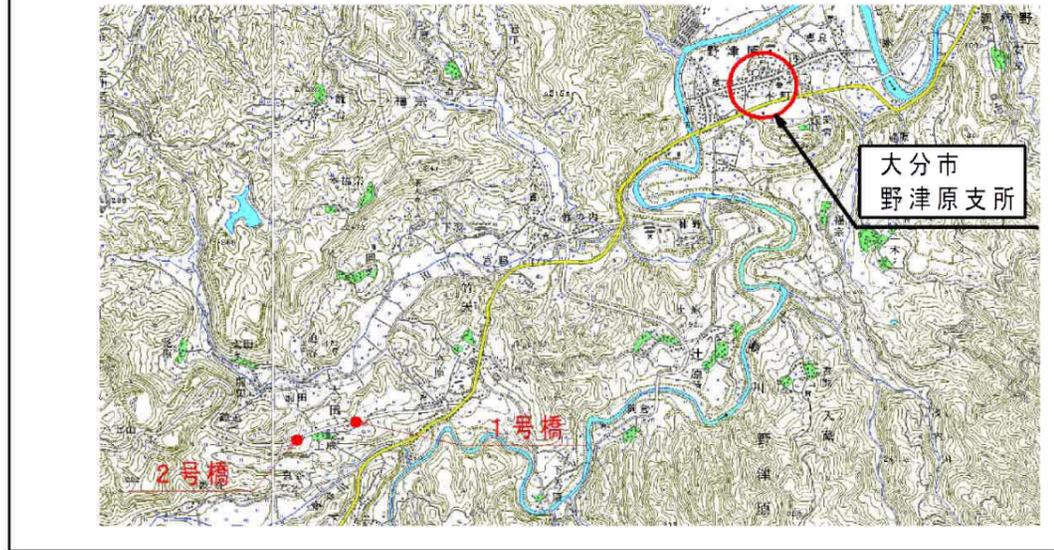


# 設計段階における三者協議資料<1号橋>

## 位置図



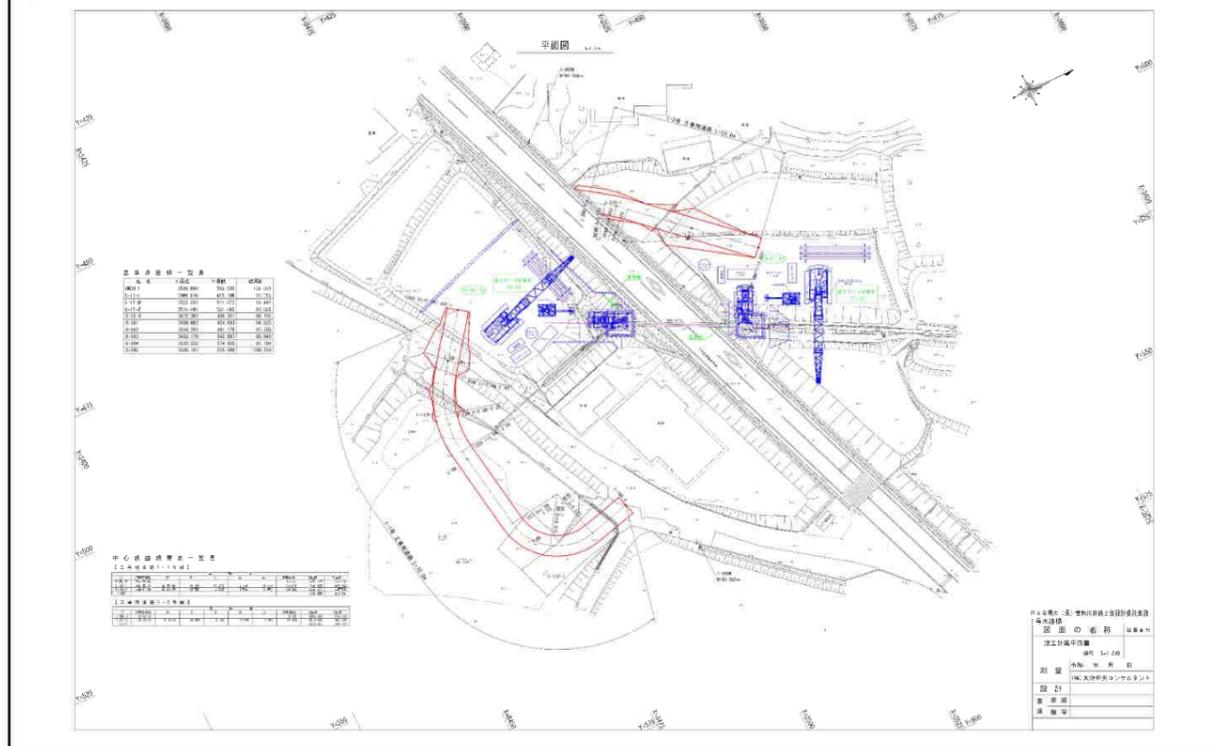
## 現地条件・課題

- 県道久住高原野津原線を走行する車両の規制
- 既設構造物の復旧
- 橋台基礎工

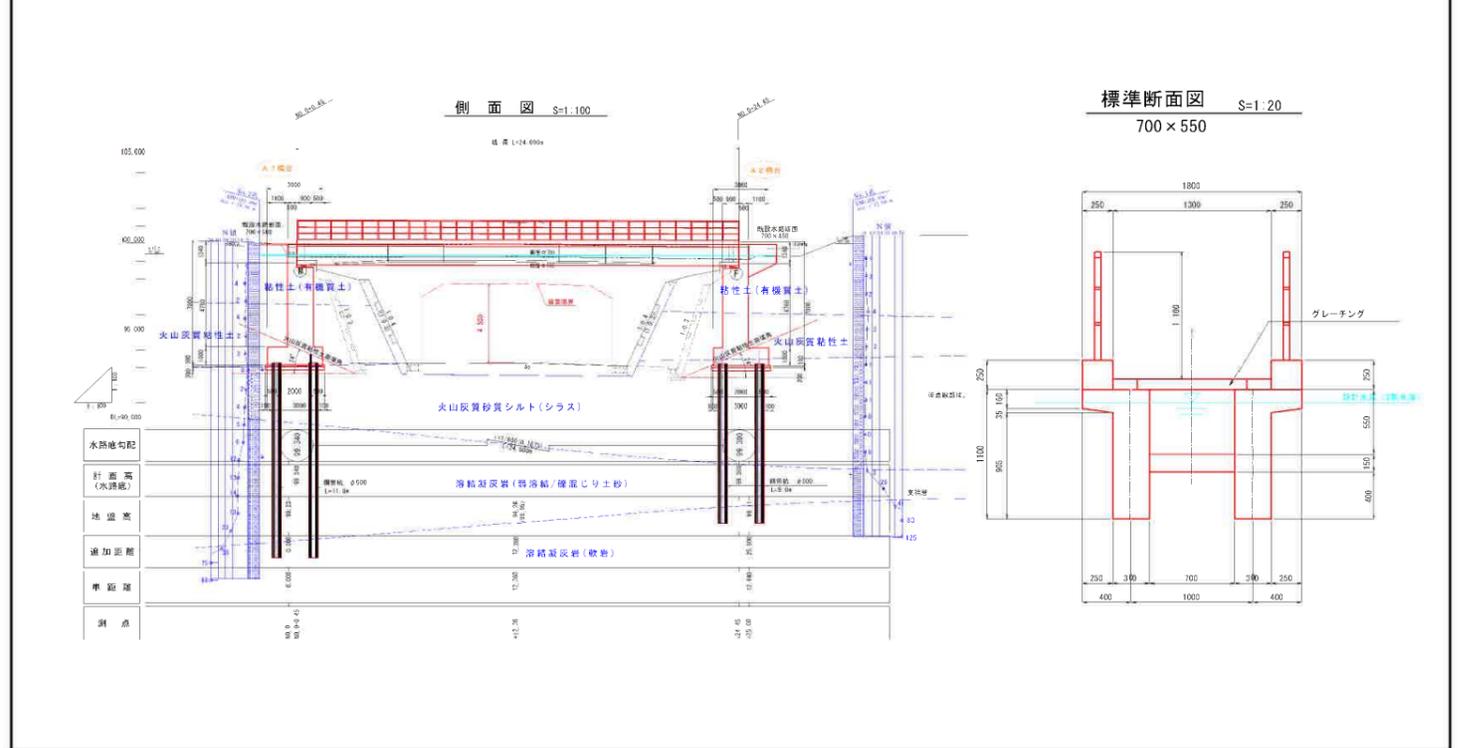
## 設計条件

<上部工> 橋種：プレテンション方式PC単純T桁橋（水路橋）  
 橋長：L=24.0m 幅員：W=1.30m 斜角： $\theta=90^\circ$   
 <下部工> 躯体：逆T式橋台 基礎工：鋼管杭（回転杭）

## 平面図



## 標準断面図



## 施工者からの意見及び対応方針

### ○改善事項

#### ■非かんがい期間中（11月～4月）での施工について

受益範囲が大きく農繁期（5月～10月）の間に止水できないとのことであるが、既設構造物の不可視部の形状が分からない・矢板工の規模が大きい等の理由から非かんがい期間中に完了させることを担保できない。そのため、“新たな位置に水路橋を新設する”・“上部工を軽量化し下部工の改修を不要にする”等の見直しを検討することが望ましい。

→別ルート案や上部工の軽量化等の検討を行う。

#### ■下部工について

下部工底面位置は、土の安息角より決定しているようであるが、掘削深が大きいので施工がやりにくい。そのため、橋長を長くし下部工の底面位置を上げ掘削深を小さくする等の検討を行うことが望ましい。

→橋長を長くし橋台高をできるだけ低くなるように検討を行う。

### ○確認事項

#### ■仮設計画について現計画で問題ないかどうかについて

・施工機械の登坂能力と基準書（土木工事設計要領 道路編 P.道7-1）に準じ工事用道路勾配 $i=15\%$ で計画しているが、実際は工事車両が滑ったりするのでもう少しゆるやかにしたほうが良い。

→縦断勾配を再検討する。

・矢板の施工にクローラークレーンを使用するかと思うが、道路幅が問題ないか確認しておくこと。  
 →施工機械の軌跡図を作成して工事用道路の現計画幅員で問題ないかの照査を行う。

